



能産第 216 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

大阪府：能勢町長 中 和



今後の道路行政についての意見・提案について

地域経済を発展させるとともに、豊かな生活環境を創造するため、国民共通の社会資本である道路整備は、極めて重要であります。

特に本町は都市近郊に位置するものの、鉄軌道がないため、道路は唯一の交通手段として必要不可欠であり、道路整備は他地域に比して一層望まれるところです。

今般、貴省から道路行政全般について、忌憚のない意見や提案とのことでしたので、別紙のとおり意見を申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路特定財源の一般財源化に関しては、目的税であるという税制の根幹に関わる問題であることから、道路特定財源のみならず税制全般の中で抜本的な整理を望みます。

鉄軌道を持たない本町での移動は、自動車によることが多く、運転をされない住民は、バスやタクシーを利用するしかないが、特定の路線しかなく、また本数も少ないため、多くの費用や時間を費やす必要があり、不便さを感じるものとなっています。このようなことから、自動車への間接税や道路特定財源は、交通不便地の解消のための交通対策や道路整備等への財源に利用されるべきと基本的に考え、他の目的のために必要な財源は、他の手法により確保されるよう税制全般の中で整理を望むものです。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

○ 現状

本町には、南北方向に縦断した国道１７３号線と国道４７７号線が整備され、兵庫県、京都府の中部地域と阪神地域が結ばれています。しかし、東西方向の道路は、峠超えのヘアピンカーブの多い地方道となっており、東西地域のさらなる交流が望めない。

○ 課題

東西方向への道路整備を行うための技術力と財政力

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

東西地域を結ぶ道路を整備することにより、東西南北の道路網が整備され、地域間の人・物・金の動きが大きく変化し、地域が活性化する。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

大阪府能勢町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 高速道路通行料の無料化若しくは大幅な引き下げ	高速道路や有料道路の利便性は、痛感していますが、経済性から利用を控えられているようなことから、地域経済全般の活性化を阻害している側面があり、利用しやすい環境にすることが重要と考えます。	